

令和２年度 行政事業レビューにおける取組について

1. 外部有識者会合

○第１回：５月１４日（木） （メール審議）

【委員：有川、石堂、川澤、鈴木、堀川、前田、松浦、水田】

＜議題＞

（１）座長の選出等

（２）外部有識者による事業の点検等について（書面点検及びヒアリング）

- ・ 行革の取組を後退させないため、以下の点により、外部有識者点検の充実を図った。
 - ヒアリングが必要な場合は、Web会議を活用
 - 十分な点検期間の確保（例年よりも長く設定）
 - 外部有識者が特に必要と認める場合には、複数名での点検を可能に
- ・ 事業点検の実施方法の説明

○第２回：９月１６日（水） （Web会議）

【委員：有川、石堂、川澤、鈴木、堀川、前田、松浦、水田】

＜議題＞

- （１）政務に対する講評事項（案）について
- （２）その他

2. 公開プロセス

○実施を先送り

3. 外部有識者による事業点検＜７月下旬～８月下旬＞

【委員：有川、石堂、川澤、鈴木、堀川、前田、松浦、水田】

○令和２年度行政事業レビューの令和元年度実施事業分（全４３２事業）のうち、
９１事業について、外部有識者による点検を実施。

○さらにヒアリングによる点検の希望があった２９事業については、Web会議を
活用して実施。

(委員からの主なコメント)

○現在の成果指標、活動指標だけでなく、より事業の成果を適切に測定できる指標の設定や実績を示すべき。

○成果指標の目標値が目標最終年度しか設定されていないものについて、各年度あるいは中間段階での目標を設定した上で、達成状況に応じた事業の見直しや予算投入の検討をすべき。

○終了年度を定めていないモデル事業について、あらかじめ終了予定を定め、成果を展開する事業設計が重要であり、出口を見据えた戦略を検討すべき。

○成果実績や活動実績において、増減や経年の変化、目標値との差等について、その理由や成果、分析結果等の説明を記載すべき。

○関連事業、低執行率の理由、繰越の理由等について、説明を記載すべきであるにも関わらず、記載されていないものがある。また、全額が繰り越された事業について、令和元年度にどこまで実施され、翌年度に何を実施するのか等、事業の進捗状況に関する記載が無いためわからない。

○競争入札で一者応札となっている案件について、競争性を高めるため参加者を増やす更なる工夫・取組が必要。